

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀磨
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2767回 村山年度 第33回 会報 2017 3-8 司会 石山桂子君

🌀 お客様

- 2016 ~ 2017 年度国際ロータリー第2550 地区第1 グループ
ガバナー補佐 高木 慶一様
- 那須山岳救助隊
隊長 大高 登様
- 那須保護区保護司会
会長 鈴木 正義様
- ボーイスカウト那須塩原第1 団ベンチャー隊
隊長 高橋 富雄様
- ガールスカウト栃木第34 団
委員長 長谷川 まち子様
- あったかハート号の会
会長 田村 好一様
- 米山記念奨学生
蘇 呈歡様

🌀 会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は。かねてご案内しております、消防ポンプ自動車のタイ国への寄贈に関して、去る3月3日に大島三千三国際奉仕委員長とともに、黒磯消防署より現物を受領してまいりました。その運搬及び一時保管につきましては、大島委員長にお骨折りをいただきましたことをご報告するとともに、大島委員長に対しまして厚くお礼申し上げます。さて、本日はお隣の朝鮮半島情勢についてお話し

いたします。一昨年辺りから、何となくいやな感じを抱えているのは私だけではないと思います。北朝鮮による核実験、主要な幹部の相次ぐ粛清、ICBMを含むミサイル発射、最近ではマレーシア国内での異母兄の毒殺(真相は不明)など、異常と言わざるを得ない行動を重ねております。しかもその主要な目的の一つが、アメリカとの平和条約の締結にあるというのですから増々理解できません。

一方、隣の韓国はといいますと、これも皆様ご存知の通り、大統領の弾劾が、憲法裁判所で審議されており、その間大統領は職務停止中であります。加えて、韓国の財閥最大手を率いるトップも逮捕されるなど、政治経済両方とも最高責任者不在の状況に陥っております。一部報道によると、弾劾が認められても、認められなくても与野党の対立激化は避けられず、全国的なデモ・流血騒動に発展しかねない。従って最悪の場合、戒厳令の発令も考えられるとのこと。

そんな中で、一昨日には、現在行われている米韓軍事演習に対抗して北朝鮮からミサイル4発が発射され、そのうち3発が日本の排他的経済水域に着弾しました。これを受けて昨日には、トランプアメリカ大統領より、「アメリカは100%日本とともにある」旨の緊急メッセージが寄せられました。2月にはマティス国防長官の来日、今月中にはティラーソン國務長官が来日するなど朝鮮半島情勢は緊迫の度を強めております。「あらゆる選択肢を排除しない」アメリカの対応如何によっては、日本にも大きな災いが起きないとも限りません。

ロータリーの目標のひとつに「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」がございます。昨年6月には韓国でロータリー国際大会が開催され、黒磯クラブも参加したばかりでございます。朝鮮半島問題の平和的な解決を心から望むもので

出席報告 出席委員会 藤崎善隆君

(出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 3月 8日	38(5)	29(4)	9(1)	78.4%		
前回 3月 1日	38(5)	32(3)	6(2)	88.9%	1人	91.7%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

本日は、この後の卓話において、黒磯クラブと永年にわたり交流をいただいております、各種ボランティア団体の皆様から、その活動状況についてのお話をお伺いするとともに、僭越ではありますが、活動に対する支援金の贈呈を行う予定となっております。皆様にはよろしくお願いいたします。

以上、本日のご挨拶といたします。ご清聴ありがとうございました。

● 幹事報告 秋葉秀樹 副幹事



第13回理事・役員会報告です。

- 4月例会スケジュール当初予定通りで、その内5日出席委員会の卓話と19日プログラム委員会の卓話が外来卓話となる件、承認されました。
- 3月8日社会奉仕委員会のクラブフォーラムに於いて那須山岳救助隊・那須保護区保護司会・ボーイスカウト・ガールスカウト・あったかハート号の代表者をお招きし、各5万円の活動助成金を贈呈する件、承認されました。尚あったかハート号につきましては、10月理事・役員会にて事前拠出を承認されており、今回は目録となります。
- 青少年奉仕委員会より、インターアクト海外研修助成金の件、生徒3名、先生1名の合計120,000円の拠出の件、承認されました。
- 3月12日に開催される会長エレクト研修セミナー登録料10,000円拠出の件、承認されました。
- 2017-18年度地区補助金の申請等の件
消防ポンプ自動車をタイ国への寄贈に伴う輸送費等のクラブ負担金と最終確定するまでの間、その経緯を会長・幹事・RI財団委員長・国際奉仕委員長への一任の要請と大幅な修正が発生した時には改めて報告する件承認されました。
- ロータリー財団地区補助金を含めた次年度への継承作業前倒しに開始する件
次年度に向けて次年度会長を含めた引継手続きが開始される旨説明がなされ、上程するに、これを承認されました。

第33回幹事報告です。

- 2017-18年地区度職業奉仕委員会よりアンケートのお願いが届いております。
次年度職業奉仕委員長にお渡ししました。
- 西那須野ロータリークラブより会報が届いております。回覧中です。

- ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。

● 委員会報告 高木茂 副会長



本日は担当である荒井副会長が欠席ですので、私が委員会報告を申し受けます。報告のある委員会は挙手願います。

- 地区インターアクト委員会委員 秋葉秀樹君



- ◆ 地区インターアクト委員 御礼の報告

2月20日～24日で台湾の3460・3470地区のインターアクトが当2550地区を来訪されました。

2月21日に宇都宮グランドホテルでウェルカムパーティーが開催され、当クラブの米山奨学生の蘇 呈歡さんに通訳のお手伝いをいただきました。

事後報告になりますが、ありがとうございました。



ニコニコボックス 室井次男君



藤崎善隆君 東日本大震災7回忌で岩手県釜石市大槌町へ行ってきました。復興未だ進まず今後も支援が必要と感じました。

大島三千三君 消防自動車引き受けました。

神山徳久君 3月20日で50歳になります。2

高木慶一君 社会奉仕委員会支援団体の皆様を歓迎して。



**卓話 社会奉仕委員会
室井次男 委員長**



**2016～2017年度国際ロータリー
第2550地区第1グループ
ガバナー補佐 高木慶一様**



今日訪問させて頂きましたのは、那須塩原市からの要請をお知らせするのにお伺いしました。昨年6月13日にオーストリアのリンツ市と姉妹都市提携を結びました。今年9月14日から9月20日の7日間リンツ市への訪問団を派遣することになりました。国際交流団体として那須塩原市内のロータリークラブから1名参加要請がございました。そこで西那須野クラブ、塩原クラブ、黒磯クラブに説明して希望者を募ることとしました。費用は60万円です、市が30万負担残り30万が個人負担です。是非ご検討して頂きたいと思います。

村山年度の社会奉仕委員会のメンバーは、私のほかに副委員長に月江寛智さん、委員に時庭稔さんと戸野俊介さんの4人です。

当初計画しました、ふれあい広場の出店、巻狩まつりの人的サポート、ハーフマラソンの協賛は、既に実施しました。

ふれあい広場の出店では、昨年の反省と事業の性格から生ビールに変えてコーラ、ジュース、スポーツ飲料にしました。焼きおにぎりとお鮎の塩焼きは例年通りにしました。会員のご協力により全て完売でき、利益金17,152円をふれあい広場実行委員会に納めることが出来ました。ご協力に感謝いたします。巻き狩りまつりは、戸野さんと私、ハーフマラソンは会長さんに出席していただきました。

今後実施する予定の主なものとして、青少年奉仕委員会と協力して参加する足尾の植樹祭那珂川の水質調査があります。これらの事業についてもご協力を賜りますようお願いもうしあげます。

さて、本日の卓話でございますが、五つのボランティア団体の代表者にご足労いただいておりますので、各団体からの事業報告をもって卓話に代えたいと思います。それではよろしく願い致します。



支援金贈呈



**那須山岳救助隊
隊長 大高 登様**



**那須保護区保護司会
会長 鈴木 正義様**

● **那須山岳救助隊
隊長 大高 登様**



**ボーイスカウト那須塩原第1団
ベンチャー隊隊長 高橋 富雄様**



**ガールスカウト栃木第34団
委員長 長谷川 まち子様**



皆さん今日は、例年通りの支援金を頂き誠に有難うございます。この支援金を那須山岳救助隊の活動に活用させていただきます。

簡単に活動内容を報告させていただきます。去年、山の事故で那須山岳救助隊の出動は殆ど有りませんでした。夏の事故は殆ど消防山岳救助隊が出動しますので、私ども那須山岳救助隊の出動は冬が主となります。



**あつたかハート号の会
会長 田村 好一様**

一昨年までは毎年20件近い事故が起きており、昨年はその2倍近い事故が起きました。その事故というのは那須岳山頂からロープウェイの間の事故で一日に4件から5件起きました。また足を折る頭を打つ事故は同じ場所で起きることが多く、そのための出動で消防レスキューの隊員が大変な苦勞をしたと聞いております。

昨年6月に登山道の整備を計画しました。警察、消防の職員の方に協力をお願いしたところ、警察署員23名、消防署員が10名の協力を頂き、総勢70名近くで登山道を整備しました。その結果、去年は那須岳山頂からロープウェイのルートでは事故は起こりませんでした。

それから一般の登山者が例えば転んでけがをした場合に、登山者からの通報で那須岳の頂上に居ると連絡が有っても、詳細な場所が分からないと、私達が出動しても事故現場にたどり着くのが難しく、救助が遅れます。そこで26年に誰でも事故現場が分かるよう登山ルートに1番から137番のナンバープレートをつける計画を立てました。環境庁の許可を取るには大変苦勞しましたが、許可が下り登山道にナンバープレートをつけることが出来ました。そうしたところ、道に迷った登山者からの通報に、番号にて帰り道を知らせ未然に事故を防ぐことが出来ました。

私ども山岳救助隊は現在隊員は16名と少数ですが、安全な登山が出来るよう、年間約120日のパトロール、登山道の整備、一般登山者の指導が主な活動です。捜索活動は殆どありません。最近では事故がなく登山者も喜んでお帰りになる状態です。

以前は山の天気は変わりやすいので悪化した場合は直ぐに、下山するよう私どもが指導しても、なかなか聞いてくれなかったのですが一昨年の御岳山の噴火から登山者が指導に従ってくれるようになりました。また私どもが当番制で出向している指導センターに登山者カードを備えていますが、やはり御岳山の噴火から多くの登山者が記入するようになりました。噴火以前は登録カードは年間で2万枚ぐらいで間に合ったのですが、最近ではその倍以上の枚数が必要で、先週も土曜、日曜で50枚から60枚は記入されております。登山者の行き先が記入されており救助活動の助けとなります。

以上のことから、お陰様で山の事故は少なくなり私共もだいふ楽になりました。ですが隊員がほとんど年配でございまして、なかなか若い方に入隊頂けません。その点が今難点となっております。平均年齢は65以上になっており、その中で最も高齢なのが私でございまして、最近山へ登ることも出来なくなってきました。登山指導センターで登山者への指導が主で、登山者が楽しんでお帰りになるのを願い、那須山を守っている次第であります。

簡単ではございますが、ご挨拶かたがた山のことについて申し上げました。

● 那須保護区保護司会 会長 鈴木 正義様



那須保護区保護司会会長を務めております鈴木正義と申します。ご挨拶申し上げます。本日は本席にご案内頂き誠に光榮に存じます。また、黒磯ロータリークラブ様には長年にわたり私達保護司会に対しまして特段のご理解とご支援深く感謝申し上げます。

なお、黒磯ロータリークラブの会員さんの中には私達保護司会の会員・元会員及び、犯罪や非行に陥った人たちの就勞を支援する共同事業主会の会長さん含め5名の方々の方が在籍しておられます。私も大変心強く感じている所であります。

申し上げるまでもなく、保護司会は犯罪や非行に陥った人たちが、再び社会の一員として立ち直りを支える活動とともに、犯罪や非行のない安全で安心できる地域の実現に向けて活動を行っております。

しかし、近年の傾向として、犯罪や非行の発件件数は減少傾向にあるものの、再犯率が極めて高く矯正施設入所者の60%強が再犯者で占め、そのうち70%が無職者であるという現状であります。

その主な要因は、帰るべき場所がないまま矯正施設等からの出所者が多い事、そして特に、就勞の門戸を閉ざされ就勞の機会が極めて少ないという現状であります。

国も2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて「世界一安全な国日本」の実現に向けてその施策を講じている所であります。平成26年12月には「犯罪に戻らない、戻さない」を閣議決定し再犯防止対策として「仕事と居場所」の確保が必要不可欠として重点項目に掲げ、政府一丸となって取り組んでいる所であります。

平成28年12月には再犯の防止等の推進に関する法律が公布施行され犯罪や非行に陥った人たちの就勞支援の強化が求められています。

このような状況下で更生保護に直接携わる私達保護司の活動には限界があります。その為にも、自治体や多くの各種団体・関係機関との連携を深めることによりその成果は大きなものとなります。

私達保護司会が現在までに取り組んだ活動及び、今後の計画等を申し上げたいと思います。

1. 更生保護活動(保護司法・更生保護法)

- ① 犯罪や非行に陥った人たちの改善更生の指導

- ❖ 保護観察対象者・少年院仮退院者・刑務所仮出所者・保護観察付執行猶予者
- ②矯正施設入所者の生活環境調整
 - ❖ 施設での本人面接・引受人との面接
- 2. 犯罪予防活動(保護司法8条の2)
 - ①地域啓発活動(街頭広報)
 - ❖ スーパー店頭における啓発(薬物・犯罪非行等)
 - ❖ 巻き狩り祭り
 - ❖ 稲村地区少年育成パレード(街頭広報・鼓笛隊)
 - ❖ 那須高原ロングライド(会場広報)
 - ②社会を明るくする運動(法務省主催)
 - ❖ 市・町推進委員会との共催
 - ❖ 内閣総理大臣メッセージ伝達式
 - ❖ 各支部単位において啓発活動
 - ❖ 学校訪問(作文コンテスト・校長・生徒指導担当懇談)
 - ❖ 少年の出張発表大会(栃木県・那須地区)
 - ③薬物乱用防止教室(室井次男部会長)
 - ❖ 那須塩原市・那須町・大田原市の小中学校における教室
 - ❖ 栃木県薬物乱用防止指導員研修
 - ④就労支援活動(瀬尾紀夫協力事業主会長)
 - ❖ 協力事業主会60社における雇用促進PR
 - ❖ 協力事業主会入会の促進
 - ❖ 矯正施設の視察研修(刑務所・少年院等)
 - ❖ 那須塩原市に対しての入札資格優遇制度(一部承認)
 - ❖ 協力事業主会員研修会・総会・情報交換等

● ボーイスカウト那須塩原第1団
ベンチャー隊隊長 高橋 富雄様



本日は、御支援金並びに日頃のご支援、また、お招きいただきましてありがとうございます。
ボーイスカウト那須塩原1団の活動について報告いたします。
ボーイスカウトの活動は、子供たちに成長の場を提供する教育活動です。自分の良心に従う「神へのつとめ」奉仕・社会貢献活動などの「他へのつとめ」自分自身を成長させる「自己へのつとめ」の「3つのつとめ」を基本として活動しています。
日常の活動としては、野外を中心に、「行うことによって学ぶ」という原点から、中学生年代のボーイスカウトと、高校生年代のベンチャースカウトは、

キャンプを快適に過ごすための野営スキルの向上を目指した訓練。小学生年代のカブ・ビーバースカウトは、野外で仲間と楽しく遊ぶという活動を進めてきました。

昨年8月には、県のボーイ・ベンチャースカウトが集まって3泊4日のキャンプを行い、栃木県キャンポリーが、西那須地区のボーイスカウト那須野営場で開催され参加しました。ボーイ隊の活動は、班が中心となり、他の班と競争しながら技能を高めていく「対班競点」と言われる方法で進めますが、当団ではスカウト数が少なく、1班しか構成できないため、「対班競点」は実施できませんでした。今回のキャンポリーでは、栃木県北部地区で合同隊を作り、この合同隊に加わり参加しました。また、キャンポリーのプログラムも、各班が競うようなプログラムであったため、有意義なキャンポリーとなりました。参加したスカウトが、見違えるようにたくましく感じたことが、印象的でした。

カブ・ビーバー隊は、10月の栃木県内のカブ・ビーバースカウトが集う、「県カブラリー」が宇都宮動物園であり、また、2月の北部地区の「ミニカブラリー」が氏家小学校体育館であり参加しました。「ミニカブラリー」では、合同で3つの組に分かれ、ゲームで競い合いました。他の団のスカウトと一緒に元気に楽しい時間を過ごせました。

奉仕活動としては、9月の「ふれあい祭り」10月の巻き狩り祭りに参加して、ボーイスカウトの活動を知らせる取り組みをしました。また、2月には、西那須野運動公園体育館で開催された、「子供フェスタ」に、西那須野地区の那須塩原2団とともに参加し、ここでは、通信塔をスカウトとともに作り、来場した子供たちに登ってもらう企画を実施しました。子供たちは、嬉々としてのぼり、保護者の方は、嬉しそうに見ておられていたことが印象的でした。

新聞で読んだことです。関西のある公園で竹が30本ほど切られ、放置されていたという事件がありました。犯人はというと、近所の子供たちが、親御さんに「外で遊びなさい」と言われ、何をしようかと、話し合いの結果「秘密基地」を作ろうとなり。そこで、御小遣いでのこぎりを買い、竹を切ったとのことです。これを聞いた公園の管理者は、「いまだき、秘密基地を作ろうとする子供たちがいる。」ということで、ほのぼのとした気持ちになり、怒ることができなくなったそうです。ボーイスカウトなら、こんな子供たちなら受け入れることができ、楽しい場を提供できると感じました。現在、ボーイスカウトは、減少傾向ではありますが、ニーズはあると心強く感じた次第です。(後日談ですが、切られた竹は、希望する団体に寄付され有効に活用されたと聞いています。)

那須塩原市でも、こういった子供たちは、まだまだいると思います。興味を持ってもらえそうな方がおりましたら、是非、ご紹介くださりますようお願いいたします。

最後に、これからも子供たちの為に活動を進めていきますので、今後ともご支援をお願いいたします。

● ガールスカウト栃木第34 団
委員長 長谷川 まち子様



皆さん今日はガールスカウト第34団の長谷川でございます。先ほどは皆様の温かい志を頂きまして本当にありがとうございました。

皆様の温かいご奉仕が私達スカウト活動の源となっており、ヤングリーダーの育成に使わせて頂いております。ヤングリーダーの育成が充実することによって、スカウトの数が増えてきております。お陰様で34団は徐々にではありましたが、今では栃木県でも2番目にスカウト数の多い団となっております。やはりリーダーの育成が充実しますと、やはり団員も楽しいスカウト活動ができ、一人が一人に声をかけて団が膨らんできているのではないかと思います。

そして本当に嬉しいことに、そのヤングリーダーは、みんなスカウトから成長して進学で中央に行きましたが、黒磯が好きなので、皆さんこちらに戻ってきてガールスカウトに携わってくれています。スカウトから元の団のリーダーとして7名も活躍しているのは、県連盟はもちろんですが日本連盟からも大変素敵なケースとお褒めを頂いております。

皆様からの毎年毎年の心温まるご奉仕のおかげで活動できること深く感謝しております。今年は発足から25年目を迎えるにあたり、34団は国際交流と日本文化をテーマにし長期計画で活動を進めていきたいと思っております。

特に最近では日本文化を知らないスカウトが多いので、百人一首と茶道を取り入れていきたいと思っております。幸い自分は茶道を教えておりますので、今年からはスカウトにも教えていきたいと思っております。

これからも皆様のご理解とご協力を頂きながら、より良い団の構築に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

● あったかハート号の会
会長 田村 好一様



皆さん今日は、あったかハート号の会、代表の田村でございます。毎年皆様方には沢山のご支援を頂きまして有難うございます。特にハート号につきましては前倒しで頂きまして申し訳なく思っております。

昨年は、10月16日に身近なところで安くて楽しくて、なかなか行けない所という要望から、野岩鉄道で日光猿軍団を見てきました。例年のようにバス2台で体が不自由で外に出られない人と独居老人の方が対象で80人募集したところ、99名の申し込みがありました。最終的にはキャンセルがあり96名の皆さんで行って来ました。障害者や年配者を対象とした計画なので、アンケートでは本当に来てよかったと書き込みを頂きました。

今までは身体的に不自由な方の参加が多かったのですが、最近2、3年の傾向として高齢者の参加が多くなり、参加者の3割は高齢者です。また、高齢者も含め体の不自由な方が主だったので、最近では知的障害者の参加が増えております。

我々に所属するボランティアの数は28名で、今までは障害者の手助け介助が主な活動でした。知的障害者の対応となると、また別な介助の仕方が必要になってきます。そこで今年から少し形を変えて行えないか再検討を考えています。

以上のように悩みが少し深まってきた状態なのですが、皆様のご支援を頂きながら、支援金を出来る限り有効に活用できればと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

3月 8日欠席(敬称略)

秋間忍・荒井昌一・安藤譲治・植竹一裕
相馬征志・小野安正・遠藤清和・深町彰
戸野俊介

前回 3月 1日分メイクアップ(敬称略)

秋葉秀樹

次回例会

平成 28 年3月15日

担当 クラブ史料

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105